



かわにし

精華町立川西小学校

検索

影の中でも子ども達がんばっています!

1月後半は寒い日が続きましたが、子ども達は寒さを気にすることなく、休み時間、多くの子ども達が元気に外遊びをしています。この1月末、学校では、少し体調不良（風邪・インフルエンザ）の子が増え、欠席が多くなっています。寒さ対策・感染症対策、よろしくお願ひいたします。

3学期の始業式、「縄跳びをがんばりましょう！」と、子ども達に話をしました。体育でもこの時期、縄跳びが中心ですが、多くの子ども達が、様々な技ができるようになるよう、休み時間も、練習に励んでいます。縄跳びの練習を頑張る子ども達です。新しい技ができたり、回数が増えて喜んだりしている子から「先生、見て見て！」と声をかけられます。嬉しい限りです。

本日は、来年度1年生の体験入学でした。5年生は、入学する子ども達に楽しんでもらおうと、話し方や接し方を考えるなど、しっかり準備していました。「4月からは最高学年！下級生に信頼される6年生になるぞ！」との意気込みを感じます。



～給食週間 1月26日～30日～

今年度の給食週間の目的は、子ども達に、日頃の食生活を振り返り、食事について正しい理解を深めて楽しく食事をしようとする態度を養うことです。そのための学習活動として、給食ができるまでのスライドを見たり、学活の時間を設定し、食に関する学んだりしました。また、給食に携わっている方々への感謝の気持ちを伝える取組として、学級ごとで寄せ書き入りカレンダーを作成しました。今度の児童集会で手渡します。

【学活での学習】●1年 おはしの正しい使い方 ●2年 野菜のひみつ ●3年 魚の上手な食べ方 ●4年 おやつの食べ方 ●5年 和食のよさ ●6年 京都の食文化と歴史



～忙しい中でも、ゆったり「会話」を！～

職員室での一場面です。「おはようございます。○○先生に頼まれて○○を取りにきました。」と言って、きちんと用事を済ませて教室に戻る子。「失礼します。……」と言って、なかなか次の言葉が出てこない子。毎日毎日、子どもたちは様々な思いをもって職員室に入ってきます。堂々とはっきりと用事を済ませていく子には、「上手に言えたね。」などと励ましの言葉かけをしています。次の言葉が出て来ない子には、聞き返し次の言葉が出るように促しています。



日々忙しい中ですが、職員室で仕事をしていると、こうした子どもたちとのやりとりや会話は実に楽しいし、ふれあえる場の一つでもあります。

先日、「失礼します」と入ってきた高学年の子が、私の前を通りがかった時、「この前、蛍光灯をかけえてくれてありがとうございました。」と言葉をかけてくれました。少し前のことを後から、もう一度お礼が言えるなんて…。何とも嬉しさがこみ上げて、「どういたしまして、また言ってや～」と、思わず言ってしまいました。

「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「失礼します」などは、あいさつの基本用語です。まず、人とつながるための第一歩として、これらの言葉は、子どもたちが日常的に習慣化するよう、学校で、各家庭で、地域で、教え込むべき言葉だと思います。そこから、さらに一言付け加えられていけば、

めざす児童像
よく学び 心豊かで 元気な子
精華町立川西小学校 学校だより
令和8年1月30日 2月号

校長 竹花 真治



2月も様々な行事が続きます。2月5日、1年生は、地域の方々（民生児童委員さん）に来ていただき、昔遊びの体験を行います。お時間とていただきありがとうございます。少しでもできるようにと、休み時間、コマ回しやけん玉を少し練習しています。



6日は2年生が、1年生を招待し、交流します。生活科の学習の一環ですが、手作りおもちゃで1年生を楽しませようと、一生懸命準備しています。どんな遊びがいいのか、どのように説明するのか、おもちゃの作り方は…等々、一つ一つが体験を通した学びとなっています。

9日、6年生は助産師さんを講師に迎え、「生命の誕生」の話を通して、「命」について考えます。

20日には、6年生を送る会があります。5年生を中心に会の運営を行い、それぞれの学年が、与えられた役割を果たしながら6年生に感謝を伝えようと、学校全体が動き出しています。

寒さに負けず頑張っている子ども達。2月は4週間で過ぎ去っていきます。一日一日を大切に、2月も引き続き頑張ってもらいたいものです。

それは「会話」となり、人と人のつながりが、より深いものになります。

ある研修会で聞いた、バス停での親子の会話の場面です

①子「お母さん、バス遅いね。」

母「遅れてるんやろ！だまってまっとき！」子「……」

②子「お母さん、バス遅いね。」母「そうやね～。」

子「どうしたんやろうね。」

母「どうしたんやろね～。」子「……」



このあと二人はどういう会話が展開していくでしょうか？明らかに子どもの言葉を引き出すのは②の母親でしょう。周りの大人の受け入れの姿勢が、子どもたちの言葉を引きだし、豊かな「会話」へつなげていくのでしょうか。

大人も子どもも日々、忙しく過ぎる時間の中で、ほんの少し立ち止まって、ゆったりと「会話」できたら…、温かな時間が流れていくでしょうね。とは言うものの、なかなかゆったりした時間は作れませんが、「宿題した?」「明日の準備は?」との、指示的言葉をできるだけ控え、「今日、どんな勉強したの?」「明日の楽しみは?」と、何気なく「会話」を繋げていきたいのですね。

塾や習い事、スマホにゲーム…、子ども達が自分一人で過ごす時間が増えていると思います。家族とゆったり話せる時間、子ども達は、そんな時間を作っていると思います。子育て期の大変な時間として、子どもと直接関わる時間、大切にしたいものです。

2月の行事予定と下校時刻

2月の行事予定			下校時刻						行事			下校時刻					
日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年	日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日								16	月		14:30		15:20			
2	月	水曜5時間 読書週間(～2/13金)			14:05				17	火	出前授業(5年)	14:30		15:20			
3	火	全校朝礼 学充(2・4・6年)	14:30		15:20				18	水				14:05			
4	水	プラネタリウム見学(4年2組)			14:05				19	木		14:30		15:20			
5	木	1年学年公開2h(むかしあそ び・体育館) プラネタリウム見 学(4年3組) 学力充実(1・ 3・5年) 委員会(後期最終)		14:30		15:20			20	金	6年生を送る会	14:30		15:20			
6	金	お話の小箱(4年) 2年学年公開2・3h(おもちゃあ そび・多目的)	14:30		15:20				21	土							
7	土								22	日							
8	日								23	月	天皇誕生日						
9	月	助産師さんによる性の授業(6 年)		14:30		15:20			24	火	水曜5時間 児童集会 学力充実(2・4・6年)			14:05			
10	火		14:30		15:20				25	水	人権の日			14:05			
11	水	建国記念の日							26	木	学力充実(1・3・5 年) クラブ(後期最終)	14:30		15:20			
12	木	クラブ(クラブ見学3 年)	14:30		15:20				27	金	水曜5時間 お話の小箱(6年) ス マホ・ネット安全教室(3~6年) ライトダウンター			14:05			
13	金	お話の小箱(5年) 相特研「卒業生を送る会」	14:30		15:20				28	土							
14	土																
15	日																

寒い中、ありがとうございます

毎朝、子ども達の通学路には、たくさんの方々が、登校の見守りをしてくださっています。PTA地域委員さん、交通指導員さん、保護者・地域の方々、子ども達の安全のために、寒い中でも本当にありがとうございます。



本年度の離任式について

毎年、教職員の異動がある際には、4月1日の朝、「離任式」を行っていましたが、本年度より、山城地域（京都府南部地方）の小・中学校では、3月末に行われることになりました。本年度は3月30日（月）となります。

8時30分、体育館に集合とします。各通学班で登校してください。（出欠自由です 持ち物 体育館シューズ）

※ 保護者の方が来られる際は、体育館後方でご覧ください

～読書週間～ 2月2日から13日まで

は、読書週間です。この期間、いろいろな本を読んで読書の楽しさを味わわせ、読書意欲を高めていきたいと考えています。「読書でbingo」の取組や、おすすめの本の紹介カードの作成なども行います。時代は、タブレットやデジタル機器を通しての読書が広がりつつありますが、この期間は、子ども達はじっくりと、一冊の本を読み深めてもらいたいものです。

音読の効果「声に出して読む！」

最近、脳を鍛えるためのトレーニングなど、脳の老化防止や活性化が話題になり、テレビのCMやネットニュース等でもよく見かけます。人の名前がすぐ思い出せなかったり、物忘れが多くなりたり、伝えたい言葉がうまく出てこなかったりと…、私自身、「頑張らなければ…」と日々痛感しています。

脳は聴覚野、視覚野、運動野などのさまざまな機能をもつ領域に分かれ、活発に働く際にはエネルギーが必要となり、神経細胞の中を流れる血液の量が多くなるそうです。話を聞いて意味を理解しようとしたり、本を読んで意味を理解しようと



したりする際には、実に多くの領域が活発に働くそうです。

さて、本を読む行為には、黙読、音読、朗読などがありますが、脳のたくさんの領域が一番活発になるのが音読です。暗唱も声を出して読むことは同じですが、音読は実際に文字を見ながら発声するので、音声理解と言語理解の両方の機能が働き、黙読に比べ、より脳が活性化することになります。

文章を音読した後に、言葉をたくさん覚えるという記憶テストをすると、音読をしない時と比べて言葉を覚える量が2,3割増え、脳の活性化に音読が効果的だということがわかります。また、音読を毎日継続すると1ヶ月後には記憶力が3割以上もアップするそうで、音読が脳の準備運動や脳を鍛えるトレーニングとして有効であることがわかっています。

学校では国語の教科書などを活用し音読しています。学年によっては、ほぼ毎日のように、家庭学習（宿題）となっていると思います。この音読をぜひ効果的に用いて、上手に読めるようになることと同時に、記憶力のアップや家庭学習の習慣化にもつなげていきたいと考えています。

